

I メイト交流（会話）ガイドライン

2026. 10. 1

目次

1. ガイドラインの目的	1
2. 会話交流の概要	1
3. 会話交流の事例	3
4. 会話交流のヒント	4
5. 会話交流を経験した学生のコメント	7
（参考 1）ツールの準備	9
（参考 2）3 分間スピーチのお題リスト	11

1. ガイドラインの目的

I メイト学生と会話交流を行う I メイト会員を対象に、具体的な進め方や考慮点、経験者の体験談などを共有します。

2. 会話交流の概要

（1）学生の希望の確認

I メイト学生が、募集時に「I メイトとの会話練習を希望する」と回答、またはマッチング後、I メイト学生が友人の学生やそのパートナーとの小グループでの会話練習を希望する場合、会話交流を行う背景や、どのような会話交流を行いたいのか、希望を確認します。

「3. 会話交流のヒント」を参考に実際に交流を行い、学生と相談しながら進めます。

（2）利用ツール

Zoom、Google Meet、LINE（ビデオ通話機能）、Messenger（ビデオ通話機能）、WeChat（ビデオ通話機能。中国の学生の場合）などが利用できます。これらは、無料のパソコン版とスマホ版が提供されています。（（参考 1）参照）

（3）会話交流の頻度・時間

学生と相談の上、会話交流の頻度や1回あたりの時間を設定します。

学生や会員の希望・負担を考慮し、1～2週間に1回程度を目安とします。学生の試験期間や学校の休み期間なども踏まえて、柔軟に対応します。

1回あたりの会話の時間は、1対1の場合は30～40分程度、小グループの場合は60分程度を目安とし、希望に応じて調整します。

中国は1時間、タイ・ベトナム・インドネシアは2時間の時差があるため、時間を指定するときは両国の時間を記載して確認します。（例：中国時間の夜7時、日本時間の夜8時等）

（４）会話の内容（テーマ）

学生が話をしたいテーマがあれば、できる範囲で組み入れます。もし、具体的なテーマが見つからない場合は、学生があまり準備をせずに話ができるように、（参考 2）の「3分間スピーチのお題リスト」などを活用します。

お互いに関心があるテーマを模索します。学生が興味のある話題（例：アニメや流行歌など）でも、わからない場合は無理に合わせる必要はありません。

（５）会話交流の進め方

例えば、最初に学生から3分程度で何かのテーマについて話をしてもらいます。その内容を受けて、会員から質問したり、逆に学生からの質問を受けたりしながら、会話を進めます。最後に、次回の交流の日時を確認・相談します。

（６）会話交流とメール交流

まずは、会話の機会を作り、うまく会話が続かなくても構わないので交流を行ってみます。もし、会話交流が続かなければ、学生の意見も聞いてメール交流やチャットのやり取りに切り替えても構いません。会話交流とメール交流を併用しても結構です。

分類	方法・ツール	読み書き	話す聞く	メリット	考慮点
文字による交流	eメール	○	-	- 都合の良い時間に読み、返信可能 - 自分の考えを簡潔に文章にまとめる力がつく	- メールを見ない学生が増加 - メールを見ても、返信を忘れがち
	チャット (LINE、Messenger、WeChat等)	○	-	- 都合の良い時間に読み、返信可能 - メールより学生の利用頻度が高く、気軽に交流できる	- 既読にならない／既読スルーも散見（返信を忘れがち） - 会話の延長線のため、じっくり考えて文章を書く機会は少ない？
会話による交流	1対1 (LINE, WeChat, Zoom, Google Meet等)	-	○	- 顔の見える関係を構築 1対1だと→スケジュールを調整しやすい →1人あたりの話す時間を確保	- お互いの時間を拘束 1対1だと→会話の継続（話題等）の工夫 →学生の心理的ハードルが高い？
	小グループ (LINE, WeChat, Zoom, Google Meet等)	-	○	- 顔の見える関係を構築 - 小グループだと→会話が続きやすい →学生の心理的負担も軽減	- お互いの時間を拘束 - グループの人数が多いと→スケジュール調整が難しい →1人あたりの話す時間が少ない

3. 会話交流の事例

・清華大学、貿易大学、タマサート大学の学生達と、常に3～4人同時に交流していました。初めの数年はメールだけの交流でしたが、メールを書くのはかなり時間的にプレッシャーがあり、だんだん頻度が少なくなる傾向がありました。そこでSKYPEを使い始めました。

・タマサート大学、貿易大学、パジャジャラン大学の学生と交流をしていたので、「他国のIメイト学生も一緒に話し合ってみない？」と持ち掛け、4人の会話交流が実現しました。約1時間半、用事のある人は退席もOKにし、2～3か月に1度くらい、1年ほど続けました。

話題は重苦しくなく、国が違っても差し支えない事にしました。話し合いたい記事のPDFを添付で送ったり、学生たちから貰った写真を他の学生に紹介したり、ベトナムで好評な日本のアニメやタイのアニメも字幕か吹き替えかなどなど、話題はそのとき任せでした。

・清華大学の学生とWeChatのビデオ通話機能を利用して、毎週土曜日の日本時間17時から30～60分間、話をしています。時々互いの都合でチャット連絡の上、変更します。『日本昔話』をもとに話をし、日本の文化・習慣・物の見方など、話の中から話題を提供して日本人の一般的な考えや中国と同じ点・違う点などに付いて話し合います。近況や双方の話題が有れば話をします。こちらの話が分かり難い時は、Iメイト学生からチャットで文字を確認してもらい、会話を進めています。

・4大学の現役学生4人、OG1人、合わせて5人と時々会話交流しています。それぞれ、3か月に1回くらい。LINE、Messenger、WeChatなど先方の希望するツールを利用。1回当たりの会話は1時間くらいです。特にテーマを指定せず気楽に、色々な話題、特にその季節に合わせた話題、旅の話、学校での話、仕事の相談、食べ物や文化の話題も上がります。Iメイトの友人が参加することもあります。

・貿易大学のIメイトは日本語の会話が苦手とのことで、LINEで2週間に1度、30分の対話を提案しました。最初は沈黙の時間が長かったですが、留学経験のある友人が加わり、今では毎週1時間以上、まるで友達同士のような会話を楽しんでいます。日本語会話力に大きな開きのある2人の学生ですが、困ると2人でベトナム語の会話が始まり、助け合いながら日本語で返答してきます。私は2人のしゃべる機会が平等になるように気を付けています。

この話を聞いたあるIメイト会員から「加わりたい」との申し出があり、今は4人になりました。Iメイトの話す時間は短くなりましたが、男性の話し方を聞く練習にもなり、これから就職を考えているIメイト学生にはいいだろうと思います。私が日本語を教えるより、むしろ私がベトナムのことをいろいろ教えて貰っています。時には1時間半に及ぶこともあり、スマホの電池切れが続き、Iメイト学生からの提案でGoogle Meetに変更しました。

4. 会話交流のヒント

（過去に会話交流を行った会員のコメント、Iメイト交流実態調査の「会話交流の感想、工夫した点、困ったこと」の回答、Iメイト交流交歓会のコメントから抜粋）

（１）利用ツール・オンライン環境

・PCの「ZOOM」を使っています。ZOOMの画面共有機能で、PPTで作成したスライドを利用できます。また、パーソナルミーティングを設定し、相手にIDとパスコードを伝えれば、都度、招待用URLを送る必要がありません。

・Zoomは画面共有ができ、わからない言葉はチャットに記入すると相手はすぐに辞書で調べます。こちらでもZoomの扱いに慣れているので使いやすかったこともあります。

・その時々で接続が悪かったりバッテリー切れで抜け落ちたり、ハードの問題も起こり得るので、慌てずゆったりと構えましょう。また、フリーズして中断しないよう、インターネット速度が、ある程度速い場所で行う必要があります。

・Zoomはインターネットの接続環境が悪いとフリーズすることがありますが、LINE、Messenger、WeChatのビデオ通話は、比較的場所を選ばずに会話が可能です。わからない言葉はチャットでやり取りし、文字で確認することもできます。

（２）会話の内容・テーマ

・簡単なテーマ、3分間スピーチで使ったようなテーマを1つか2つ伝え、それについて話す準備をしてもらうといい会話になります

・学生のレベルの合わせた話題を選ぶことが肝要です。また、肩の力を抜くために、冒頭、「天気」や「昨晚の夕食の献立」など、彼らが答えやすい質問から始めるのも効果的です。

・会話のレッスンと自由会話は違い、自由会話ではテーマを決めます。恐らく、学生は日本語を話すチャンスが欲しいので、日本語を教えるのではなく話し相手になる感じでしょう。
＜例＞

1. 会話内容に毎回テーマ(自分の近況や趣味、日本との風土・食事・生活・環境、漢字の三文字・四文字熟語、等)を決めて会話をしています。
2. 日本企業のインターンシップがあるとのことで、模擬面接を行いました。目的がある会話練習はより積極性が増すと感じました。
3. 日本語での発表の前にチェックをしました。メールでの交流は文法や表現を直してあげることが中心ですが、発表の練習は、特に発音を直しました。
4. 本人がInstagramにUPしている情報を中心に話を展開していくと、具体的な観光の説明や食べたものの感想など一緒に写真を見ながら話が広がります。

5. 学生の好きな折り紙について会話が盛り上がりました。
6. メンバーがそれぞれ自分で撮影した写真を持ち寄り、その内容を説明したり質問を答えることで、けっこう盛り上がりました。
7. お互いに小旅行や身近な話題の写真を事前にメールで送り、Zoom でその写真の紹介をしながら会話しています。
8. 話を盛り上げる（拡がりを持たせる）工夫として、相手の国の文化・風物について教えてもらう立ち位置が良いと思います。自分たちの文化に関することなので、必ず話す中身を持っています。
9. 食べ物話は割と盛り上がります。
10. 日本文学に関心がある学生なので、俳句や日本の小説をテーマに設定してきます。

・テーマを決めない場合は「前回から今日まで、学校・寮・家庭であった出来事」「スマホやニュースで気になった話題」などを尋ね、なかなか話が出なかったらこちらから話します。小さいことでも気が付いたこと、見たり聞いたりしたことなど学生も話すようになります。

・日本語の書籍等を用いて読み合わせを行い、その内容について質問を行う方法もあります。
＜例＞

1. 星新一のショートショートを読み合わせをしています。質問が頻出するので、日本語の言葉づかいの難しさをいまさらながら認識させられています。
2. 本人の好きなアニメ「鬼滅の刃」をテキストに試行してみる予定。私は動画で何度か見たが、漫画で見るのは初めてなので、どうなるか、楽しみです。

（３）会話交流のコツ・考慮点・アドバイス

①やさしい日本語で

・会話練習のためには、何よりも「やさしい日本語」で話し掛けることが大切です。「敬語」や「方言」「カタカナ言葉」「慣用句」「オノマトペ（擬音・擬態語）」は極力、使わないようにします。『ところで』とか『つまり』といった「接続詞」の多用も控えます。

・殆どの学生が JLPT「N3」「N4」(*)だと思いますが、JLPT のレベルと話す能力は別物です。
(*)「チュウ太の道具箱」という検索サイトで、漢字や単語が JLPT のどのレベルで学ぶのかを確認できます。

②ゆっくり話す

・こちらからの発話は、できるだけ短く区切って話します。あまり長文になると、学生は話に追いついていけません。

・会話のスピードは、最初は通常の 80%程度のゆっくりした速度で始め、相手の反応を見ながら徐々にナチュラルスピードに戻していきます。ただし、あまりスローテンポでも会話のリズムを損ない、かえって不自然な会話になってしまいますので、ほどほどが肝心です。

③学生の話聞く（日本人が話し過ぎないように）

- ・会話交流の主役は学生なので、彼らの発話を中心に進めます。気持ち的には、学生が全体の70～80%の時間を使うように発話バランスを考えることが大切です。（70～80%と思っても、結果的には50%程度になってしまいますが…）

- ・間違ってもいいから、口に出して試みるのが上達への近道です。小さな子供に、うん、うんと言いながら辛抱よく聞き、最後に必要な箇所だけ簡単に正しく言い直すという経験は、どなたもお持ちだと思います。なるべく学生の話したいことを聞く、それには話の流れのままがいいと思います。

- ・学生に話してもらい、学生の意向をくみ取り対応することが肝要です。日本人は多くを語らずに聞き手に徹しましょう。

- ・「？マーク」の形でやり取りすると、学生の方から反応を引き出し易いです。

- ・学生の日本語力も性格もいろいろなので、焦らずに気長に臨機応変に対応します。

④質問やフィードバックの工夫

- ・相手が話し終わるまで待ち、意味が分からなければ話した後で、別の言葉で確認します。相手の理解度を見ながら質問し、わからない言葉はチャットで共有します。

- ・学生が答え易いように質問の仕方を工夫します。また、質問に対する答えを急がせてはいけません。助け舟を出すこともなるべく控えます。

- ・会話の流れの中で、細かい文法の間違いなどに気を配ることは必要ですが、発話の途中ではなく、最後にまとめて指摘・修正します。また、学生がアニメや漫画で覚えた若者言葉を使った場合は、大人との会話には使わないように伝えます。

- ・出来るだけ直さず1つか2つ、ポジティブで印象に残るフィードバックを工夫します。

⑤継続のコツ

- ・交流の最後に、次回会う日を決めてLINEのチャットなどで共有しておく、いつの間にか連絡が途絶えることはありません。当日にリマインドのメッセージ（例：「今日も中国時間14時、日本時間15時から楽しみにしています」）を送ると確実です。

- ・30分限定の会話交流は時間としてぴったりのようです。

・主体的な参加を促す工夫として、I メイト学生に、Zoom 等の会議設定を行ってもらい、そのリンクを送る際に話したいテーマを伝えてもらうように依頼するのも一案です。

・面白いと感じたら、次もやりたいと思うはずです。話題が合えばいいですが、話が弾まなければ続かないかもしれません。続かなくても気にしないこと。相手が積極的であれば対応すればいいですが、日本人のほうが積極的になると学生は負担に感じるかもしれません。

・学生たちは、宿題や予習で手一杯のようなので、私たちと楽しく息抜きできるようにという気持ちで。

・「上から目線で教える」のではなく、I メイト交流のスタンスは「友だち目線」、隣にいるお友達に話しかけるような感覚です。動機を高める事が出来れば、自助努力で会話力を向上させられるだけ学生さんは優秀だと認識する事が大事です。

・もし、「1 対 1」で会話に困る場合は、学生の友人、日本の知り合い（家族など）を交えての「2 対 1（3 人）」の形式にしてみることも効果的です。

・異なる生活環境・時間感覚にある国の学生を相手にするので、全てがうまく行くと思わずケセラ・セラでよいです。過去に少し必死に取組み過ぎて相手に引かれてしまった経験もあるので、相手に合わせて求められるなら支援するスタンスで臨んでいます。

5. 会話交流を経験した学生のコメント

（I メイト交流実態調査で学生が回答した「会話交流の感想、工夫した点、困ったこと」から抜粋）

（1）感想

・大学で日本語の勉強をしていますが、会話練習をする相手が少ないため、I メイトと会話練習をできるのは日本語で話す自信が出られるので、とても勉強になります。

・たくさん勉強になります。会話力も少しずつ確実に上がる気がします。

・最初は理解するのが本当に難しいと思いましたが、毎週 1 回 Zoom で会話すると、だんだん分かるようになりました。

・会話の練習は楽しくて、日本語で答えることにだんだん慣れてきました。ですが、ときどき日本語の言い方を忘れたり、どう言えばいいのか分からなくなったりします。

・月 2 回も zoom しています。交流会自体は問題ありませんが、無料の zoom なので 1 回は 40 分しか交流できないのも足りないと感じたことがあります。

（2）リラックスして

- ・I メイトはいつも親切で優しく、リラックスできる雰囲気を作ってくださいるので、あまり緊張せずに自然に話すことができます。
- ・友達同士で気軽に話すみたいな感じで、リラックスできます。

（３）しっかり聞いて

- ・最初、私は話すことが苦手ですから、日本人と話す時勇気が全然ありませんでした。しかし、I メイトはいつも私が何か伝えようとしているかをしっかり聞いて、私もうまく話せない日本語を直してくれました。

（４）ゆっくり話して

- ・時々、I メイトの話があまりわからない。もっとゆっくり話してほしいです。
- ・私の日本語があまり得意ではないので、時々うまく話せず困ることもありました。わからないときは、ゆっくり話してもらったり、聞き返したりして工夫しました。
- ・時々どんな話を話したか、分かりませんでしたから、ちょっと困りました。でもI メイトのおかげで、話が順調になりました。

（５）話題について

- ・日本について質問したり、日本の文化を学んだり、自国の文化を紹介することもできます。
- ・日本の社会的な課題についての知識も得られます。
- ・会話練習というより、喋って生活をシェアします。例えば、最近何な面白いことが起こったか、仕事が順調に進んでいるか。
- ・ある会話会では、日本人会員からさまざまな病気の名前や、もし体のどこかが痛いときにどの病院の診療科に行けばよいのかを教えてくださいました。
- ・会話交流に工夫したのは、何が面白い話を考えました。時々私の言葉が少なく、困ったことになりました。しかし、辞書アプリが開けたので問題ないです。
- ・会話内容が難しいと、うまく会話できません。

（６）小グループでの会話交流について

- ・小グループ会話交流で日本人と話せるのはうれしいです。観光スポットとか食べ物をお互い紹介できます。私は日本語で話すのは少しずつ自身が持てるようになってきました。
- ・小さいグループでの会話は軽い感じがあって、気まずい感じあまりありません。困ったことは、インドネシアと日本の時間が違うことです。
- ・私は今、1 か月に 2 回、会員や学生を含めたグループでおしゃべりをしています。久しぶりに会うので、皆さんの近況を聞きながら楽しい時間を過ごしました。また、毎回日本語を練習したり、新しい言葉を勉強したりすることができました。

（参考 1）ツールの準備

（1）Zoom

- ①Zoom をパソコン・スマホに導入（インストール）します。
- ②Zoom ミーティングを設定し、会議案内を I メイト学生に送ります。

Zoom でミーティングの予約～開催方法（参考動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=TcaljqjHk-o>

- ③ 予定した日時に、Zoom 会議を開始します。

（2）LINE

LINE が提供する「LINE みんなの使い方ガイド」の中の「LINE を使い始める（入門編）」の記事を参考に進めます。

↓

<https://guide.line.me/ja/signup-and-migration/hajimeteguide.html>

- ① インストール（入手）する

https://guide.line.me/ja/signup-and-migration/line-install.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=line_install&utm_term=howtoguide

- ② アカウントを作成する

https://guide.line.me/ja/signup-and-migration/line-signup.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=line_signup&utm_term=howtoguide

- ③ プロフィールを設定する

https://guide.line.me/ja/account-and-settings/account-and-profile/set-profile.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=set_profile&utm_term=howtoguide

- ④ メールアドレスを登録する

https://guide.line.me/ja/account-and-settings/account-and-profile/set-email-address.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=set_email_address&utm_term=howtoguide

- ⑤ 友だちを追加する（リンクや QR コードで友だち追加する）

https://guide.line.me/ja/friends-and-groups/add-qrurl.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=add_qrurl&utm_term=howtoguide

- ⑥ トークを送る（チャットができるようになります）

https://guide.line.me/ja/chats-calls-notifications/chats/chat-friends.html?utm_source=guide

[de&utm_medium=referral&utm_campaign=chat_friends&utm_term=howtoguide](https://guide.line.me/ja/chats-calls-notifications/calls-and-chatlives/free-calls.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=chat_friends&utm_term=howtoguide)

⑦ 通話をする（ビデオ通話により、顔を見ながら話ができます）

https://guide.line.me/ja/chats-calls-notifications/calls-and-chatlives/free-calls.html?utm_source=guide&utm_medium=referral&utm_campaign=free_calls&utm_term=howtoguide

LINE は、スマホでアカウントを登録した後、パソコンにも導入できます。ビデオ通話機能で会話をしながら、学生が聞き取れない、理解できていない「単語」や「文章」を、チャット機能を使って日本語で送り、確認することもできます。

（３）Wechat

（参考記事） <https://creson.jp/media/wechat-use-point/>

①Wechat をスマホに導入（インストール）します。

②Wechat アカウントを新規に登録します。

③ I メイト学生とつながります。（チャットができるようになる）

② で登録したアカウントを学生に伝え、学生から連絡してもらいます。

④ ビデオ通話機能を活用します。

WeChat は、スマホでアカウントを登録した後、パソコンにも導入できます。ビデオ通話機能で会話をしながら、学生が聞き取れない、理解できていない「単語」や「文章」を、チャット機能を使って日本語で送り、確認することもできます。

＜WeChat 利用上の考慮点＞

- ・政治・歴史認識などに関連する話題は避けてください。
 - ・スマホやパソコンのセキュリティ対策をしっかり行ってください。
 - ・WeChat は、LINE と違い「既読」や「メッセージ着信のお知らせ」の機能がありません。
- WeChat を利用して交流を行う場合は、定期的に WeChat をチェックしましょう。

(参考 2) 3 分間スピーチのお題リスト

(2024 年清華大学訪問時のスピーチコンテストのお題より一部抜粋)

- ・ 20 年後のあなたは？
- ・ あなたの自慢話
- ・ 新しく始めたいこと
- ・ 今までで一番大きな失敗は？
- ・ 身近な人でユニークな人を紹介してください。
- ・ 私が応援している（推し）の人
- ・ 私がお勧めする母国の観光地
- ・ 私の尊敬する人物
- ・ 日本の作家で好きな人とその作品
- ・ 日本の「かわいい」文化について
- ・ 男女平等ではないと感じる時はどんな時？
- ・ 自分が、日本語が上手くなったと思う時はどんな時？
- ・ 日本語の難しい点は？
- ・ 母国の習慣と日本の習慣の違いをどう考えるか？
- ・ あなたが日本に興味を持ったきっかけは？
- ・ 最近のあなたのビッグニュースは何ですか？
- ・ 将来やりたいことは何？
- ・ 自分をアピールするとしたらどんなところ？
- ・ 日本のどんなところに関心を持った？
- ・ あなたの小さな幸せは？
- ・ 今までの人生で一番辛かった事、そしてそれをどう克服したか。
- ・ 今までで一番感動した出来事
- ・ 日本人の不思議なところ、驚く点